

### ■米国：ニュージャージー州規制へ回帰、新法に知事が署名

2011年1月28日、州内の天然ガス火力建設促進を目的とした法案にニュージャージー州知事が署名した。この法律は州内に新たに建設される発電所に対し、ピーク対応の待機設備容量に対する支払いの一部を長期にわたり電気料金から回収することを保証するものである。法案審議の段階から、市場メカニズムをゆがめるものとしてPJM管内の電気事業者やIPPから猛反発を受けてきた。しかし、州議会は圧倒的多数で2011年1月10日法案を可決し、知事が署名するか注目されていた。州法成立を受けて発電事業者団体は早速、連邦エネルギー規制委員会（FERC）に対し対抗措置を訴えるものと見られている。